

みやぎNPO夢ファンド（C）スタートアップ支援プログラム
平成21年度助成事業 最終報告書

平成 22年 4月 30日

団体名	特定非営利活動法人エークューブ
事業名	動物管理センターに収容されている譲渡候補犬の世話手入れ活動を通した不登校・ひきこもりの若者支援 →名称：グッドフレンズ・プログラム（略称：GFP）
助成金を使って行った事業について、ご記入ください。 （事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください）	
【事業目的】 仙台市動物管理センターの譲渡候補犬の世話を通して、社会生活上の対人関係において、不安や悩みを抱えひきこもりの人達の「共感力」を促し社会参加出来る人物を育てる。且つ、社会経験の機会が乏しいひきこもりの若者達が、社会の中で就労に結びつくことが出来る「自立心」を育てていく。また、心が傷ついた保護動物に対しても、彼らと接することで、「安心感」「信頼感」を取り戻すことが出来るように導いていく。更に人と動物、人と人。相互が理解し合い、協力し合える社会を目指し、研修やセミナーなどを開催し、広報・普及・啓蒙活動を行う。	
【事業報告】 上記目標に合わせ、下記の活動を通年で行いました。	
<ul style="list-style-type: none">・仙台市動物管理センターとの話し合い・支援団体への働きかけ・「グッドフレンズ・プログラム説明会」実施（6月・7月）・「グッドフレンズ・プログラム公開セミナー」実施（9月・3月）・各種勉強会・研修会への参加・各対象者のプログラム検討・各対象者の活動の実施・継続・アドバイザーを交えてのディスカッション・関係団体からの相談・問い合わせ対応・プログラムの基本要領書作成 及び経過に合わせたプログラムの見直し	
詳細は別紙 「NPO 法人エークューブ夢ファンド助成事業報告書」及び「参考資料」をご参照ください。	

今回の事業によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

*成人男子1名の活動継続

会員になり定期的に活動に参加するようになつた。自分が変わりたいという気持ちが芽生えアルバイトの面接を数回受ける。次年度も会員を継続、活動を続けたいという意思表示をしてきたため、活動を継続する。

心の気づき、芽生えが見えたのが今年度の活動だった。次年度は等身大の自分を知る、自分自身のこだわりが気がつくことができれば大きな飛躍が期待できる。

*仙台市適応指導センターに通う児童生徒 数名を対象とする活動

今年度は1回の実施が実現した。次年度は2-3回実施したいと先生のほうから要望があった。

*仙台市適応指導センター卒業の女子1名の活動準備

導入の活動を終えた女子は高校進学を志し受験し、見事合格。

県立こども病院の医師と連携をはかりながら本活動を実施して行く予定

*助成金の援助のおかげで2回のセミナーを広く呼びかけて開催することができ、3月のセミナーでは本気で不登校・引きこもりの青少年の問題に取り組もうとしていらっしやる方達が聴講してくださり、本会としても良いつながりができました。次年度も実のある勉強会を企画していく予定です。

*助成金で対象者の作業用ジャンパーを購入することができ、毎回快適に作業をしてもらうことができ、また活動継続の意欲にもつながりました。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

*仙台市適応指導センター卒業の女子1名の活動準備

県立こども病院の医師と連携をはかりながら本活動を実施して行く予定。

*12月1日に横山章光先生、グリーンチームニーズ職員をお呼びして勉強会を開催予定。

*仙台市動物管理センターとの定期的な話し合い

本会の活動を陰ながら支えてくださっている仙台市動物管理センターとより綿密な話し合いを持ち、より一層強い後押しがいただけるよう働きかけて行く予定。

*実行委員の募集&定期的な報告会と勉強会

長いスパンですすめていくことの重要性を感じました。

他団体で7年前に起業した動物介在型フリースクールは、今は活動を停止しています。本会は高齢者の訪問活動を8年間継続しております。この事業に対しても10年、20年と継続できるように会員達に浸透させて行く必要があります。まず、これに係る実行委員を増員し、層の厚みを作り上げて行きます。

そのためにも定期的に申し送りをする場や勉強会が必要となってきます。

次年度はここに焦点をあてて軌道に乗せていく予定です。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか。

- ①危機管理対策の見直し
- ②マニュアルの作成
- ③対象者を保護するためのルール作り
- ④仙台市動物管理センターとの役割分担
- ⑤会員への周知（個人情報を守りながら）
- ⑥専門家に協力していただくため報酬の有無と資金調達

など、これから取り組んで行きます。

尚、支援団体についての正確な情報を「せんだいみやぎNPOセンター」より引き続きご提供いただきたいと思います。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	1 6 0 0 0 0	1 6 0 0 0 0	
自己負担	5 0 0 0 0	4 9 8 2 0	
合計	2 1 0 0 0 0	2 0 9 8 2 0	

支出の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
通信費	5 0 0 0	2 2 1 8 0	9/2及び3/16セミナー案内郵送代（DM）
印刷費	1 5 0 0 0	1 2 2 6 0	9/2セミナーチラシ、資料コピー代
謝金	1 2 5 0 0 0	1 1 5 0 0 0	9/2セミナー講師 9/2セミナーコーディネーター謝金 3/16セミナー講師2名 アドバイザー謝金
会議費	2 0 0 0 0	1 3 0 0 0	9/2セミナー会場費 3/16セミナー会場費
消耗品費	1 5 0 0 0	2 5 2 0 0	作業服
旅費交通費	3 0 0 0 0	2 2 1 8 0	3/16セミナー講師交通費
合計	2 1 0 0 0 0	2 0 9 8 2 0	

寄付をいただいた方へのメッセージをどうぞ

私たちのような小さな団体には、会費以外に如何に活動資金を集めるかが課題です。特に、新しい分野への活動となると、準備、研修、資材等に費用をどう捻出するかが問題となり、資金面で諦めざるを得ない事が多々あります。

このような状況の中でファンドという形で、支援を受けることが出来た環境に感謝致します。今後は、この活動が安定的に継続できるように進めたいと考えております。

宮城県、市民、企業のみなさまに感謝するとともに、途中途中でアドバイス等をいただいた事務局のみなさまに感謝致します。